



新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

ティッカーテープ・パレード

校長 永浜 裕之

「ティッカーテープ・パレード」は、「ticker tape」と呼ばれる、株価の印字に用いられていた細長い帯状の紙テープを短く切り、紙吹雪に見立てて、ビルの窓等からまく、ニューヨーク伝統の行事です。1886年に行われた「自由の女神像」除幕を祝う祝典を起源として、第二次世界大戦を戦ったダグラス・マッカーサーの帰国や、アポロ11号の宇宙飛行士の凱旋等、特別なお祝い事の際に行われてきました。

2021年7月7日、「コロナ復興パレード」として、医療関係者や消防、警察など、エッセンシャルワーカーに感謝するティッカーテープ・パレードが開催されました。「英雄たちの谷 (Canyon of Heroes)」と呼ばれるパレードの通り道に紙吹雪が舞い、「ウィルスに勝った」、「俺たちは帰ってきたぞ」と声を上げ、人々は歓喜に沸いていました。

報道を見た私は、ワクチン接種が進み、集会の制限やマスク着用義務の解除、飲食店の盛況が見られる米国を羨ましく感じましたが、祝福ムードは束の間の夢でした。インド由来の変異ウィルス「デルタ株」の猛威により、再び感染対策が強化されています。

米国の様子を見てみると、人々は、新たな問題に直面した際、立ち止まらずに何かを試み、間違いが見つければ正しながら、物事を前に進めようとする意識を感じます。失敗を恐れない「トライ & エラー」の文化が、米国の強みだとも感じます。

たとえば昨春、病床不足が叫ばれると、約1週間で大型展示場を1,000床の臨時病院に作り替え、全米から数万人の医療関係者が集結しました。ワクチン接種が進むと、規制を次々と解除し、その結果、新規陽性者の増加を招きました。

どちらの例も、「大量に病床が余った」、「規制解除が早すぎた」といった批判が出ましたが、報道を見てみると、政治家や行政担当者は、「なぜ失敗したのか、次はどう進めるのか、合理的に説明している」感じを受けました。

正しい解答を誰もが知りえない状況の中、考える最善の方法を試してみる、そのことにより人々は、少しずつでも前に進んでいるという実感を得ているように感じます。7月7日のティッカーテープ・パレードのインタビューでも、「トンネルの先に光がある、その光に近づいていると感じたから頑張れた」と答えている人がいました。

日本でも新規感染者の増加は続き、医療体制のひっ迫が懸念され、日々の報道を見たり聞いたりすると憂鬱な気分になります。

報道では、様々な批判も見聞きますが、私は、政府や行政担当者、医療従事者等のエッセンシャルワーカーは皆、真摯に取り組んでいると考えます。新たな知見を提案することは大切ですが、安易な批判をすべきではないと考えます。

さて、直接、新型コロナウイルス対応業務に従事していない私たちができることは、一人一人が気を緩めることなく、これまで以上に感染対策を行うことに尽きます。

マスク着用や黙食の徹底、不要不急の外出や移動の自粛、3密の回避や正しい手洗い、咳エチケット、登校時の健康チェックや教室等における密集の回避（生徒同士間隔を1m以上確保）など、一人一人の感染対策をしっかりと行っていきましょう。

定時制課程では当面、午前9時20分開始の時差通学、1限45分の短縮時程で12限までの授業を行っていきます。

僕はクラゲが好きです。クラゲを採集して飼育したり、論文を書いたりしています。

僕がクラゲに興味をもったきっかけは、クラゲに刺されたことです。小学4年生の夏、海で遊んでいたら、青くてコンタクトレンズのような形の生きものが何十匹も水面を流れてきました。とてもきれいだったので、僕はその内のひとつを手で掬いました。触れた瞬間、手に痛みが走りました。それからだんだん毒が広がって、肩あたりまで痛くなりました。コンタクトレンズの正体はギンカクラゲという毒の強いクラゲだったのです。



この時からだんだんクラゲに興味が沸いてきました。あのゼリー状のシンプルな生きものが、泳いだり繁殖したりするというのが面白くて、気が付いたらクラゲに熱中していました。

クラゲの飼育をしてみたくなり、図書館においてあるクラゲの本を全部読み、飼育方法を調べました。その後、クラゲについて作文を書き、両親にプレゼンテーションして認めてもらい、クラゲを買ってもらいました。その後ずっと、クラゲを飼育・研究する生活を送っています。

僕は、小学校と中学校に通っていなかったけれど、時々海に行ってクラゲ採集をしたり、海洋生物に関する学会に連れて行ってもらったりして、いろんな経験をする事ができていました。クラゲ仲間や研究者の方とも知り合うことができました。

小学6年生の時、和歌山県白浜町にいらっしゃるクラゲの大先生と知り合うことができ、それから先生に会うために毎年白浜を訪問しているのですが、中学1年生の時には、思いがけず未記載種（まだ確認されていない種）のクラゲを採集することができました。今僕は、そのクラゲの記載論文を書いているところです。高校在学中に受理されることが目標です。

僕はクラゲ生活を始めてから、毎日の勉強のモチベーションが上がりました。将来は研究者を目指していますが、クラゲの知識だけを持っていても、研究職に就くことはできません。将来の仕事につながるとすると、毎日の勉強が楽しくなります。

引き続き、クラゲと勉強の両方を充実させたいと思い、時間に自由が利く新宿山吹高校の通信制に進学しました。

入学してみると、意外にもレポートに追われる日々に、クラゲの時間と自習の時間を確保するのが大変です。それでも、全日制高校に通うよりは、時間のコントロールがしやすいはずだし、普段は自分で勉強して、週一回先生に質問をするスタイルは僕に合っています。新宿山吹高校に入ってよかったと実感した前半期でした。

これからの高校生活では、早く自分のペースを確立して、勉強もクラゲも楽しんでいきたいと思います。

定時制課程 学校行事予定

9月1日（水）転編入入学式（13:30～）、
授業開始、避難訓練
5日（日）東京パラリンピック閉会式
10日（金）自己探索学習④
17日（金）前期末考査時間割発表
19日（日）開校記念日
20日（日）敬老の日
23日（木）秋分の日
24日（金）～30日（木）前期末考査
10月1日（土）都民の日
※英語スピーキング入学者選抜テスト
（閉庁日、生徒登校禁止）

通信制課程 学校行事予定

9月1日（水）転編入入学式（13:30～）
4日（土）スクーリング1-12
5日（日）東京パラリンピック閉会式
11日（土）前期試験①
18日（土）前期試験②
19日（日）開校記念日
20日（日）敬老の日
23日（木）秋分の日
25日（金）前期試験（重複等変更日）
10月1日（土）都民の日
※英語スピーキング入学者選抜テスト
（閉庁日、生徒登校禁止）